

認定看護師シター



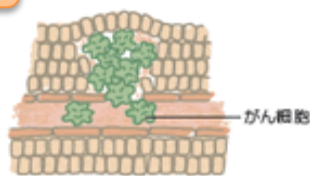
認定看護師室：2014年9月9日発行 vol.25

＊ ＊骨転移の患者の骨折予防について＊ ＊

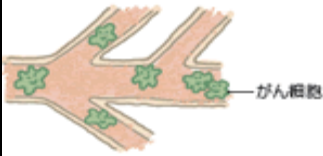
骨転移のある患者さんが、骨折を起こした事例がありました。病的な状態の骨は、普通なら骨折を起こさないような軽微な外力によっても折れることがあります。骨折によって、様々な症状を生じ、日常生活に大きな支障をきたすため、骨転移のリスクを知り予防に努める必要があります。

骨転移が起こるまで

①がんが大きくなると癌細胞が血管・リンパ管に侵入します（浸潤）



②血液・リンパ液と一緒に体のあちこちを移動します



③癌細胞が骨にたどりつき増殖することを骨転移といいます



・・・骨転移がおこしやすい部位・・・

がんの種類によって異なります。体の中心部に近い骨、**脊椎（背骨）、肋骨、骨盤、大腿骨、上腕骨**などです。

・・・骨転移の頻度が高いがん・・・

乳がん、前立腺がん、肺がんなど

・・・骨転移が起こると・・・

- ①がん細胞が周囲の神経を刺激し痛みが起こります。
- ②脊髄が、がんや骨折などで圧迫され、痛みや、痺れや麻痺などが起こります。
- ③骨が弱くなると、ちょっとした力が加わるだけで骨折をすることがあります

・・・骨折予防について・・・



- ①**骨転移の部位を確認**⇒部位によって介助の仕方が違ってきます。
- ②**姿勢や動作の工夫や環境整備**⇒骨は施力（ひねる動き）や急激な動きに弱いので、中腰になる体をねじるなどの動作は骨に負担がかかり骨折につながります。床に物を置かない、必要な物品がそばにあるなど環境に注意しましょう。
- ③**転倒防止**⇒睡眠は規則正しく。すべりやすい履物ではないか。夜は足元を照らす常夜灯など。
- ④**体交後の姿勢や苦痛の確認**⇒麻痺や拘縮の有無も考え、体交後の肩抜きや体のねじれ、表情等を確認をしましょう。

コンサルテーション実績報告 2014年度（前年度）件数

	4月	5月	6月	7月	8月
緩和ケア	22 (17)	10 (19)	12 (39)	10 (19)	9 (21)
集中ケア	15 (3)	8 (7)	8 (5)	7 (3)	4 (8)
皮膚排泄ケア	75 (50)	64 (71)	62 (70)	49 (72)	37 (65)
感染管理	29 (23)	16 (20)	15 (18)	25 (25)	17 (21)
救急看護	17	11	9 (6)	7 (0)	7 (0)

＜掲示板＞ ＊認定看護師フェアのお知らせ＊

10月27日（月）～31日（金）1階外来フロア
各分野の認定看護師が活動紹介のポスターを展示しますのでご覧ください
10月30日（木）は、以下の内容を開催しますので奮ってご参加ください
10:00～15:00 1階外来フロア
手洗い・AED体験
スキンケアやがんに関する相談コーナー
18:00～19:30 8階多目的ホール
NPPV、耐圧分散マット、ストーマについての講義・演習

担当：緩和ケア認定看護師 上野 ゆか